

季刊
夏号



博物館だより

FUKUSHIMA MUSEUM
QUARTERLY

URL <http://www.general-museum.fks.ed.jp>

夏の企画展

129

美しき刃たち

～東京富士美術館コレクションと
福島の名刀～

福島県立博物館



夏の企画展

美しき刃たち

〜東京富士美術館コレクションと福島の名刀〜

会期：7月13日(金)〜8月19日(日)



1

美しき刃やいば。

日本の刀剣は、単なる武器ではありません。大地の結晶である鋼はがねから、火の力で形づくられた、比類のない美術品です。そして日本人の自然への、神仏への敬虔な想いの形でもありました。だからこそ、日本の刀剣は美しい存在なのです。それは、決して他者を傷つけないためだけのものではなく、悪しきモノから護るための、自然や神仏の力の、そして持ち主の祈りの姿です。



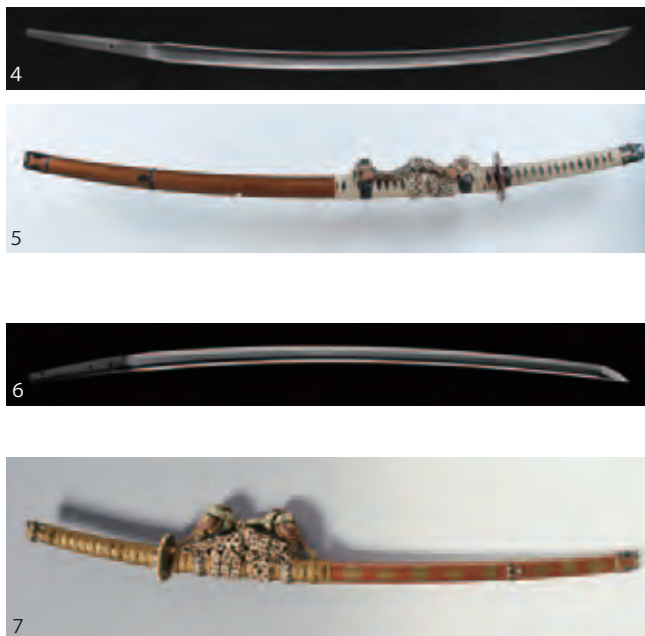
2

特別公開

戊辰戦争150周年にあわせ会津藩と行動をとめた新撰組副長・土方歳三所用の刀が特別に出品されます。会津で土方所用の刀をご覧いただけるまたとない機会です。お見逃しなくご覧ください。

イベント

会期中、講演会、シンポジウムなどの深く学べるイベントや、鎧の着付け、居合の実演などの体験イベント、展示の見どころをわかりやすくお伝えする解説会などを予定しています。詳細は、裏表紙のインフォメーションをご覧ください。



- | | |
|------------------------|-----------------------------------|
| 1 刀 銘(葵紋)以南蠻鐵於武州江戸越前康繼 | 土方歳三所用 佐藤彦五郎新選組資料館 |
| 2 太刀 銘一(福岡一文字) | 重要文化財 東京富士美術館 イメージアーカイブ/DNPartcom |
| 3 刀 折返銘 正恒(古備前) | 重要刀剣 東京富士美術館 イメージアーカイブ/DNPartcom |
| 4 太刀 銘 陸奥大掾三善長道(松平家奉納) | 福島県指定重要文化財 土津神社(若松城天守閣郷土博物館寄託) |
| 5 金梨地糸巻太刀拵(松平家奉納) | 福島県指定重要文化財 土津神社(若松城天守閣郷土博物館寄託) |
| 6 刀 無銘(名物横須賀江/阿部家伝来) | 白河集古苑 |
| 7 金梨地菊桐紋糸巻太刀拵(阿部家伝来) | 白河集古苑 |
| 8 黒漆塗鳩胸五枚胴具足 | 南相馬市博物館 |

その他の主な展示作品

- | | |
|---------------------------------|---------------------------------|
| 太刀 銘 有綱 | 重要文化財 東京富士美術館 |
| 太刀 銘 備前国長船住近景 建武二年五月日 | 重要文化財 東京富士美術館 |
| 刀 銘 和泉守藤原兼定作 | 東京富士美術館 |
| 刀 銘 長曾祢興里入道帙徹 | 東京富士美術館 |
| 太刀 銘 兼友 為直 道辰 長道 兼氏 謹共作之(松平家奉納) | 福島県指定重要文化財 土津神社蔵(若松城天守閣郷土博物館寄託) |
| 金梨地糸巻太刀拵(松平家奉納) | 福島県指定重要文化財 土津神社蔵(若松城天守閣郷土博物館寄託) |
| 太刀 銘 備州長船盛景(阿部家伝来) | 白河集古苑 |
| 黒漆塗鳩胸五枚胴具足(伝相馬家所用) | 個人蔵(南相馬市博物館寄託) |
| 刀 銘 陸奥大掾三善長道 寛文十年二月吉日 | 福島県立博物館 |
- など。

観覧時間：9：30～17：00 ＊入館は16：30まで

会場：福島県立博物館 企画展示室

休館日：7月17日(火)・23日(月)・30日(月)・8月6日(月)

観覧料：【当日券】 一般・大学生 800円(20名以上の団体 640円)

高校生 600円

中学生以下 無料

【前売り】 一般・大学生 700円

高校生 500円

前売りチケットはこちらでお求めください

福島県立博物館、福島民報社本社・郡山本社・各支社支局・販売店

うすい百貨店、中合福島店、セブンチケット、ローソンチケット

主催：刀剣展実行委員会(福島県立博物館・福島民報社・福島テレビ)

企画協力：東京富士美術館

後援：福島県、福島県教育委員会

会津若松市、会津若松市教育委員会

会津若松市戊辰150周年記念事業実行委員会

公益財団法人日本美術刀剣保存協会

日本美術刀剣保存協会会津支部

会
ト
展
レ
ポ
ー
ト

春の企画展

匠のふるさと会津 — 技と祈りの建築文化誌



会期 4月28日(土)～6月24日(日)
会場 企画展示室

平成30年度春の企画展は建築文化にスポットを当てた内容です。会津地方は古くから、建築に関わる文化の豊かな土地でした。建築の過程で行われる多くの儀礼や職人に関わる多彩な文化、さらに大工道具づくりの技術の隆盛、江戸時代以来の出稼ぎによる職人の交流など、独特な建築文化が育まれてきました。

なかでも反響が大きかった展示のひとつに、昭和村の職人が木の伐採から加工、儀礼までを再現した映像「奥会津の元山と番匠」があります。83分ある長い映像作品ですが、多くの方が職人の技に見入っていました。展示資料では、継手・仕口などの大工による精巧な木組み模型や、奥会津で上棟式に掲げられる火伏せと呼ばれる性器型の奉納物などは、ご質問をいただくことも多く、関心の高さがうかがえました。また今回の展示のシンボルともいえるのが、実物大の上棟式の装飾・祭壇模型です。会津若松市建築業組合の皆さんのご協力のもと、上棟式の五色旗や矢羽根などの装飾と祭壇を作っていました。

また今回は、会津の歴史としてあまり



知られていない鍛冶屋の活躍や職人の出稼ぎにも着目しました。全国に名を轟かせた鋸鍛冶や刃物鍛冶の道具や作品を紹介し、また越後からやって来た大工の活躍を、古文書や道具、彫刻や棟札など多様な資料からご紹介しました。会津が大工道具の一大産地であったことや、越後との間に職人の深い交流の歴史があったことは、初めて知ったという方も多かったようです。

展示内容をより深める記念講演会や身近な建築に親しんでもらうためのバスツアー、子どもたちが木と触れ合う機会として企画した木工体験イベントなど、関連行事も多く開催しました。講演会では、お茶の水女子大学教授の宮内貴久先生に「奥会津地方の建築儀礼と職人巻物」と題して儀礼を中心にお話しいただき、ま



た新潟郷土史研究会顧問の中村義隆先生には「越後大工の会津への旅立ち」と題して職人の出稼ぎ文化について教えていただきました。バスツアーは「知られざる会津の名建築をたどる」と銘打ち、講師の小澤弘道先生の解説のもと、寺社や民家とそれを手がけた職人に着目した巡検を行いました。

展示会場には建築関係のお仕事をされている方や職人さんも多く来場され、資料や情報を多数ご提供頂きました。ゴールデンウィークには親子連れのお客様が多数お見えになり、それ以降は修学旅行の小中学生で賑わいました。ご協力、ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。

(民俗分野・内山大介)

イベント
レポート

子どもミニミニ博物館



会期 4月28日(土)～5月6日(日)
会場 体験学習室

このイベントは、体験学習室に「子ども向けハンズオンコーナー」を設営し、ご家族で体験を通して楽しい時間を過ごして頂くためのものです。第1回目を昨年のゴールデンウィークに、第2回目をその年の夏休みに行いました。今回で第3回目になります。

今回は、春の企画展「匠のふるさと会津」に合わせて、木を中心とした玩具を揃えてみました。プロの木工による高度な技術が凝縮された木組みの模型、福島県市町村のシンボル木で作られた特大地図パズル、漆器の工程見本などです。

参加者はまず体験学習室に設けた「子どもミニミニ博物館」専用受付でビンゴ用紙を受け取ります。ビンゴ用紙には8個の問題とスペシャル問題が記載されています。問題の一例は「会津若松市のシンボルの木は何?①ケヤキ②ブナ③アカマツ」。ヒントの地図を頼りに、各市町村の地図の形になっている木のピースを当てはめて福島県市町村パズルを完成させながら、問題を解いていきます。

子どもたちだけで完成させるのは少し大変ですが、ご家族の協力を得ながら完

成させていく時、とても素敵な時間が生まれていきます。ビンゴ問題をやり終えると、受付で係りが正解チェックをし、ビンゴができるとオリジナルシール、さらに全問正解すると博物館シンボルマーク缶バッジがプレゼントされます。シールも缶バッジも手作りのものですが、「がんばったのでプレゼント!」とお渡しすると喜んでくださり、その場で帽子やカバンにつけて帰られる方もいらっしゃいました。

スペシャル問題は、企画展「匠のふるさと会津」より、上棟式の模型に立てられている旗の色を5色答えるものでした。一度企画展をご覧頂いたご家族も、5色全てはなかなか思い出せないように、子どもたちと再入場して答えを見つけ、また受付に戻って来られた時の笑顔を見ると私たちもとても嬉しくなりました。

会期中の来場者数は1日平均1000人ほど。大型連休中はご家族連れのお客様



がおいでになりますので、このような子ども向けのイベントを開催することで、少しゆっくり滞っていただけの空間を創りあげたいと思っています。

ある本の筆者が「博物館の一番の思い出は、幼いころに父親から展示してある物を説明してもらったことである」と述べていました。家族と見た博物館の景色は、一生忘れられない思い出になることを改めて感じさせられました。多くの子どもたちが、その筆者のような思い出を本館で作ってくれることを願いながら、今後もイベントを企画していきたいと思っています。

(学習支援班：江川トヨ子)

夏休みも開催!!
子どもミニミニ博物館へお盆の日時：8月11日(土)～8月19日(日)
9時30分～16時30分
会場：体験学習室
申込不要

展
マ
介
テ
紹

友の会化石・鉱物探検隊第2回成果展
「野山の宝 化石・鉱物」展

会 期：7月10日(火)～8月19日(日)
会 場：エントランスホール
観覧料：無料

博物館友の会の化石・鉱物探検隊では、2009年2月に、結成10周年を記念して、隊員の皆さんが収集した化石や鉱物の標本を一堂に展示する「野山の宝 化石・鉱物展」を開催しました。その後も、探検隊の活動はますます盛んとなり、今年も結成20周年の節目を迎えることとなりました。

この10年の間にも、隊員の皆さんの手



によつて数多くの標本類が着々と収集されてきました。そこで再び、これらの成果を皆さまに御覧いただきたいの思いから、第2回目の「野山の宝 化石・鉱物展」を開催することとなりました。

このたびも前回と同様、会場に展示する数多くの化石や鉱物の標本のほとんどは、隊員のみなさんが月1回の例会活動や個人活動で採集したものです。しかも今回は、来館したすべての方にその成果を知っていただくよう、展示ケースをエントランスホールに配置し、たいへん気軽にご覧いただけるよう工夫しています。

20年という歳月は決して短くありません。しかし隊員の皆さんの、化石・鉱物のおもしろさや山歩きのおもしろさへの共感が、今日までともに活動を続ける原動力になったのだと思います。ご来場の皆さま、展示された資料にゆっくりと向き合い、探検隊の方々を魅了してやまない太古の生物たちのロマンや、自然の造形美ともいえる神秘的な鉱物の世界をじっくりと味わってみてください。

(自然分野：相田優)

展
マ
介
テ
紹

華麗なる島

会津出身の文化人・西川満が愛した台湾、繋いだ日本

会 期：7月22日(日)～8月19日(日)
会 場：常設展部門展示室 歴史・美術
観覧料：常設展観覧料
主 催：福島県立博物館、国立台湾文学館
特別協力：台北駐日経済文化代表処台湾文化センター
協 力：真理大学台湾文学資料館、台南市曾文社区大学
斎藤清美術館、芸文交流台湾プロジェクト実行委員会

西川満をご存知でしょうか？

会津若松市出身の西川満は、2歳で家族とともに台湾に渡り、台湾で育ちました。早稲田大学で学んだ後台湾に戻り、台湾独自の文学を打ち立てることに尽力します。1933年に台湾日日新報に入社。記者として活躍しながら姉姐書房を設立し、台湾の美しい自然や豊かな文化、風俗に基づいた雑誌を発行しました。

本展では、近年大回顧展を開催した国立台湾文学館との共催により、西川満が愛してやまなかった台湾を、西川が手掛けた本などから紹介。西川満が台湾文学界において果たした役割にも触れます。

西川満をはじめとした日本人、台湾人が互いに築いた両国の親しさは、東日本大震災時の台湾からの多大な支援へとも繋がっています。人や文化が国境を越え、人と人を、国と国を繋ぐことを、学ぶ機会としたいと思います。

(美術分野：小林めぐみ)



『華麗島慕情』西川満編
(提供：真理大学台湾文学資料館)

企画展予告

秋の企画展1

戊辰戦争一五〇年

会 期：平成30年9月1日(土)～10月14日(日)
 会 場：福島県立博物館企画展示室
 観覧料：大人・大学生 800円(20名以上の団体：640円)
 小中高生 無料
 主 催：福島県立博物館、新潟県立歴史博物館、仙台市博物館

戊辰戦争から150年の節目に、主戦地となった福島県で改めて戦争の意義を問い直します。なかでも会津藩は、藩主松平容保が京都守護職として幕末の政局に身をおいたため、新政府軍の激しい攻撃にさらされました。勤王を自認する会津藩が何故朝敵とされたのか、急転する局面でいかに戦ったのか、東北と越後の諸藩はどう動いたのか。残された資料をもとに実像にせまります。また戦争後斗南の地(下北半島)へおもむいた会津藩士たちの動向を伝える資料もご紹介します。新潟県立歴史博物館と仙台市博物館との連携により実現した本展。ご期待ください。

(歴史分野・阿部綾子)

【主な展示資料】

会津藩の京都での活動、戊辰戦争開戦後の東北・越後諸藩の関係、各地の戦況、新選組の行動、敗戦後の人々のようすなどを伝える諸資料を約200点展示。また錦旗を複数展示し、錦旗とは何だったのかを考えます。



梅里筆「白虎隊自刃の図」 個人蔵
 ※白虎隊士であった飯沼貞雄(もと貞吉)が絵師に描かせた自刃の図

企画展予告

秋の企画展2

「日本のわざと美」展

—重要無形文化財とそれを支える人々—

会 期：平成30年10月27日(土)～12月2日(日)
 会 場：福島県立博物館企画展示室
 観覧料：大人・大学生 800円(20名以上の団体：640円)
 小中高生 無料
 主 催：文化庁、福島県教育委員会、福島県立博物館
 特別協力：東京国立近代美術館

文化庁や全国の美術館・博物館の所蔵品により、「人間国宝」と呼ばれる重要無形文化財の保持者や保持団体の「わざ」と作品の「美」を紹介する展覧会です。陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、手漉和紙、截金、撥鏤など、伝統的な工芸技術を高度に受け継ぎつつ、さらに新たな技法・技術や表現を追求し、豊かな感性を注ぎこんだ逸品によって、日本工芸の粋をご紹介します。伝統工芸に関わる道具や材料を製作・生産する選定保存技術もあわせて展示。豊かな伝統工芸の土地でもある会津で、日本各地の技と美をご堪能ください。

(美術分野・小林めぐみ)

【主な展示作品】

重要無形文化財保持者(いわゆる人間国宝)と重要無形文化財保持団体の作品及び工程見本並びに選定保存技術関係資料。作品203点、資料15点。



増村益城「乾漆朱輪花盤」
 昭和58年文化庁蔵



十三代 今泉今右衛門「色絵吹重ね珠樹草花文鉢」
 平成13年文化庁蔵

Information

企画展 企画展示室

美しき刃たち

—東京富士美術館コレクションと福島の名刀—

7月13日(金)～8月19日(日)
料金：一般・大学生800円 高校生600円
中学生以下無料

講演会

「古刀再現―日本刀の心―」(申込不要、無料、講堂)
7月15日(日) 14時30分～15時30分

講師：藤安将平氏(将平殿刀場刀工)

「ふくしまの刀剣」(申込不要、要企画展チケット、企画展示室)
7月29日(日) 14時30分～15時30分

講師：渡邊明氏(日本美術刀剣保存協会津支部長)

シンポジウム

「ふくしま刀剣自慢」
(申込不要、要企画展チケット、企画展示室・講堂)
8月4日(土) 14時00分～16時00分

講師：二上彦氏(南相馬市博物館学芸員)

四家久史氏(いわき市文化財保護審議会委員)

吉田陽一氏(二本松市教育委員会委員)

平田祐文氏(三春町歴史民俗資料館副館長)

菅野和恵氏(須賀川市立博物館学芸員)

内野豊大氏(白河市文化財課学芸員)

中岡 進氏(若松城天守閣郷土博物館学芸員)

実演

「尻台実演」(申込不要、無料、エントランスホール)
7月15日(日)、8月4日(土)
11時30分～12時00分、13時15分～13時45分

講師：福島県剣道連盟会津居合道部会の方皆さん

体験イベント

「鎧を着て見る刀剣展」
(申込不要、要企画展チケット、エントランスホール企画展示室)

7月21日(土)、7月29日(日) 13時30分～(随時)

講師：YOROO工房あいつの方皆さん

「展示解説会(申込不要、要企画展チケット、企画展示室)」
7月13日(金) 10時00分～11時00分

講師：鴨木年泰氏(東京富士美術館学芸員)

小林めぐみ(当館学芸員)

「刀剣展の見方・はじめの一步(一)」
8月19日(日) 13時30分～14時30分

講師：月山貞伸氏(月山日本刀鍛錬道場刀匠)

鴨木年泰氏(東京富士美術館学芸員)

「刀剣展の見方・はじめの一步(二)」
9月1日(土)～10月14日(日)

料金：一般・大学生800円 高校生以下無料

「記念講演会(申込不要、先着200名、無料、講堂)」
「戊辰内乱と「官軍」の創造」

9月16日(日) 13時30分～15時00分

講師：高間純一氏(中央大学文学部准教授)

「仙台藩と奥羽越列藩同盟」
9月29日(土) 13時30分～15時00分

講師：水野沙織氏(仙台市博物館学芸員)

「展示解説会(申込不要、要企画展チケット)」
9月1日(土) 10時00分～11時00分(予定)

9月8日(土)、15日(土)、22日(土)、23日(日)・祝、
24日(月)・祝 13時30分～14時30分

講師：担当学芸員

「テーマ展 エントランスホール・部門展示室 常設展示料金」
野山の宝化石・鉱物展

—友の会化石・鉱物探検隊第2回成果展—

エントランスホール、無料
7月10日(火)～8月19日(日)

講師：西川満が愛した台湾、繋いだ日本

華麗なる島

—会津出身の文化人—

西川満が愛した台湾、繋いだ日本

うるわしのうるわしのうつつわー土の中から

部門展示室(歴史・美術、常設展示料金)
7月22日(日)～8月19日(日)

部門展示室(考古・常設展示料金)
7月28日(土)～翌年5月19日(日)

8月4日(土)～翌年5月19日(日)

「ポイント展 総合・部門展示室 常設展示料金」
戊辰戦争ピックアップ3 戦場のうわさ話

～7月6日(金)～

染紙の世界

～8月29日(水)～

築城四五〇年 会津の向羽黒山城はどんな城？

～9月30日(日)～

戊辰戦争ピックアップ5 若松城下の戦い

7月7日(土)～8月10日(金)

8月11日(土)・祝～9月14日(金)

黒船来航を伝える農具

8月31日(金)～10月24日(水)

日本遺産！会津三十三観音と御詠歌

～H31年3月31日(日)～

日本遺産！安積疏水ができるまで

～H31年3月31日(日)～

「館長講座」
「東北の文学者たち」(申込不要、無料、講堂)

④「西川満」 7月19日(木) 13時30分～14時30分

⑤「佐々木喜善」 8月16日(木) 13時30分～14時30分

⑥「石川啄木」 9月20日(木) 13時30分～14時30分

講師：赤坂憲雄(当館館長)

【歴史講座】

「戊辰戦争こぼれ話」(申込不要、無料、講堂)

④「会津の戦い」 7月14日(土) 13時30分～14時30分

⑤「若松城下の戦い」 8月11日(土) 13時30分～14時30分

講師：④高橋 充(当館学芸員)

⑤佐藤洋一(当館学芸員)

講師：塚本麻衣子(当館学芸員)

【美術講座】

「会津の仏教美術3中世の展開」(申込不要、無料、視聴覚室)

7月6日(金) 13時30分～15時

講師：塚本麻衣子(当館学芸員)

【考古学講座】

★「縄文土器をつくろう」(要申込 20名、300円、実習室)

8月4日(土)、8月5日(日) 各10時～15時

講師：高橋満(当館学芸員)

【実技講座】

★「ピロロでコースターをつくろう」(要申込 10名、700円、実習室)

7月8日(日) 13時30分～15時30分

協力：三島町生活工芸館

★「唐人和風をつくろう」(要申込 親子15組500円、実習室)

7月28日(土) 13時30分～16時

講師：齋藤誠一氏(伝統技術保持者)

【ミュージアムエデュケーター事業】
「ハニワ大王のギャラリートーク」

「展示資料で見るふくしまの暮らし」

④「乗る」 7月8日(日) 11時～12時、13時～14時

⑤「学ぶ」 8月12日(日) 11時～12時、13時～14時

⑥「生と死」 9月2日(日) 11時～12時、13時～14時

講師：荒木隆(当館学芸員)

「ティータイム考古学」(考古学を読む)

②「象牙とハンコ」 7月1日(日) 13時～14時

③「キモノと装身具」 7月22日(日) 13時～14時

講師：荒木隆(当館学芸員)

石城・石背建國1300年記念連続講演会

シリーズ「ふくしまの新しい古代像を考える」

②「蝦夷大反乱がふくしまに残したもの？」

— 耶麻郡成立の背景 — (申込不要、無料、講堂)

8月26日(日) 13時30分～15時

講師：荒木隆(当館学芸員)

【読み聞かせ】
「博物館でも読み聞かせ」(申込不要、無料、体験学習室)

7月14日(土)、8月11日(土)・祝、9月8日(土)

各11時～11時30分、14時～14時30分

講師：読み聞かせグループの方皆さん

【実演】
「大堀相馬焼の絵付け」(申込不要、無料、エントランスホール)

7月1日(日) 13時30分～15時

講師：山田慎一氏(かりや商店白河工場)

「昔語り」(申込不要、無料、体験学習室)

9月30日(日) 13時30分～15時

講師：横山幸子氏(語り部)

【その他】

「子どもミニ博物館」(申込不要、無料、体験学習室)

8月11日(土)・祝～8月19日(日) 9時30分～16時30分

「博物館を活用した学校教育プログラム研修会」

8月3日(金) 10時～16時 (要申込 30名、実習室ほか)

【テーマ展関連フォーラム】
芸文交流台湾と会津プロジェクトフォーラム

「台湾と会津 西川満から現在まで」(申込不要、無料、講堂)

7月22日(日) 15時～17時

講師：張良澤氏(真理大学台湾文学資料館名誉館長)

西川潤氏(早稲田大学名誉教授)

瀧川恵男氏(会津若松商工会議所会頭)

聞き手：赤坂憲雄(当館館長)

【ミュージアムイベント】★は要申込

「げんぱく映画会 ハーメルン」(申込不要、無料、講堂)

7月16日(月)・祝 13時～15時45分

「会津磐梯山市民益踊り」(申込不要、無料、前庭)

8月15日(水) 19時～20時30分

出演：会津磐梯山盆踊り保存会の方皆さん

★「ナイトミュージアム」(要申込 80名、無料、総合展示室)

8月18日(土) 17時30分～18時30分

「Codemini」(申込不要、無料、講堂)

9月17日(月)・祝 13時30分～15時

演奏：会津室内楽団アンサンブル「Codemini」の方皆さん

*要申込の行事は基本的に開催日の1ヶ月前から募集

を開始します(異なる場合もあります)のでご確認ください。

電話もしくは受付カウンターでお申し込みください。

*その他、行事等の詳細に関しては、月行事予定

やホームページをご覧ください。

7～9月の休館日

7月2日(月)・9日(月)・17日(火)・23日(月)・30日(日)

8月6日(月)・20日(月)・27日(日)

9月3日(月)・10日(月)・18日(火)・25日(火)

【お問い合わせ先】福島県立博物館

〒965-0807 会津若松市城東町1-25

Tel 0242-28-6000・Fax 0242-28-5986

Mail general-museum@fcs.ed.jp